



活動報告

山田クリスマス会 …12月23日(日)

まだ真っ暗で星が見えていた午前5時半、私たちは山田に出発しました。世の中にはサンタクロースが一体何人いるのか分からないけれど、わたしたちもサンタクロースやトナカイ、そしてなぜかペンギン1羽に変身し、山田の方たちに少しでも喜んでもらいたいという思いでこのボランティアに臨みました。



▲バスの中で準備

今回はポジティブ盛岡さんと一緒に活動で、午前は仮設の集会所など5か所の会場に行き、余興を披露したり、午後は仮設住宅の個人宅に訪問。集会所の余興では、手づくりのピタゴラスイッチの装置を披露したり、2人羽織でやきそばを食べる芸をし、とても盛り上がりました。私とペンギンさんはあたりまえ体操を披露し、女性三名のコーラス隊によるクリスマスソングなどの美しい歌声で、ささやかなクリスマスの会の最後を飾ってもらいました。集会所に集まってくれた仮設に住む方たちは本当に温かく、私たちの訪問をとても喜んでくださっているようでした。



▲プレゼントを配布

何よりも、その喜んでいいる顔や楽しんでいいる顔、真剣に歌を聴いている子供たちの純粹な表情を見れた瞬間に感動しました。こちらのほうが元気をもらえた瞬間でした。当日は最高のお天気で、山田の海は、とってもきれいでした。仮設住宅の一角では、するめいかや新巻鮭を干している光景を見ることができました。岩手の厳しい冬はまだこれからで、仮設住宅で寒さを乗り越えることはきっと大変だと思いますが、盛岡からまた、手助けになれることがあればまた、みなさんに会いに行きたいです。

▲何が入っているかな？



▲何が入っているかな？



▲サンタさんと一緒にはい、チーズ！

＜報告/谷藤＞

2012年12月28日(金)、いわてゆいっこ盛岡では総括集会&忘年会を行いました。2012年活動報告、2013年活動計画、会計報告などがありました。そして、2013年から代表が藤原慧矢から岩手県立大学1年の立花有彩へバトンタッチされるため、代表引継ぎも行われ、いわてゆいっこ盛岡の新たなスタートとなりました。

今回はゆいっこ新聞番外編として「ゆいっこの一年を振り返って」をテーマにゆいっこスタッフと総会参加者の方に頂いた一言をまとめました。大きなイベントがあったこの一年、それぞれに何を感じたのかを共有することで、今後のより良い活動に繋げていきたいと思います。



▲代表引継ぎの様子

2012年12月31日をもちまして、私、藤原慧矢はいわてゆいっこ盛岡の代表を引退することになりました。後任は岩手県立大学1年生の立花有彩が務めます。

学生という立場で代表を務めることに不安を感じることも多々ありました。ですが、その都度、多くの方の支えや応援、力強い引っ張りもあり、一年六ヶ月間の代表を無事に終えることができました。未熟な自分が団体に貢献できたのかはわかりませんが、以前より成長したことは実感しています。この場で経験し学んだことは、次のステージである社会人生活で活かしていきたいと思います。復興までには十数年かかります。歳月の経過にともなって、ゆいっこの形やメンバーも変わっていくでしょう。私が四月から社会人というステージに立つように、次期代表の立花もいずれは代表を退き、次のステージに立つのだと思います。形やメンバーが変わったとしても、そこで活動が途切れるわけではありません。これからも活動は継続し、最後には、【いわてゆいっこ盛岡】という団体が沿岸の復興を見届ける。復興の日まで『顔の見える息の長い支援』をぜひ続けていってほしい、というのが私の願いです。私も、出来る限りの支援を続

けていきます。

これまで、いわてゆいっこ盛岡を支えてくださった方々には非常に感謝しております。誠にありがとうございました。2013年も、新代表・立花といわてゆいっこ盛岡をよろしく願いたします。

藤原慧矢

私は2012年3月11日、いわてゆいっこ盛岡で行われた「祈りの灯火」のときに初めてゆいっこの存在を知りました。追悼行事の素晴らしさに感動し、その日からゆいっこのメンバーに加わることを決めました。この一年はただひたすらにゆいっこの方たち背中を見て、走ってきた9か月間だったと感じます。「何かしたい」という気持ちばかりが先行して、迷惑をかけることも沢山ありましたが、その度に助けられ、多くのことを学びました。私にとって初めての大きなイベントであった「もりキャン」では、何度も重ねた話し合い、準備など、苦戦することばかりでしたが、終えた後の達成感、そして楽しかった思い出にまたやりたいと強く思いました。そして、2013年からの代表になることが決まり、今は不安でいっぱいです。ですが、藤原代表の活躍する姿を今まで見てきて、本当にやりがいのあることだと感じます。私に何ができるのか、まだ分からないことばかりですが、今まで以上に様々な活動をしていきたいと思ひます。これからもよろしく願いたします！

立花有彩

復興元年の2012年。初めて自分の住む都南（見前地区）の方々と協働でボランティアをする機会に恵まれ、また新しい発見と学びがありました。ゆいっこボランティアは普段の仕事や生活では学べない事がたくさんあります。ゆいっこ創設当初は無我夢中。たくさんの方々のご協力で現在も活動させて頂いていると感謝の気持ちでいっぱいです。初代代表の慧矢君が今年大学院を卒業するにあたり、2代目代表の有彩ちゃん（県立大学1年）へバトンタッチ。学生たちがこのゆいっこ盛岡を通じて様々な経験をし、将来の岩手や日本を担う人材になるんだろうと思うと、大きく成長する姿が頼もしくとても嬉しい、母の気持ちです。1日も早い復興を願ひ、2013年も初心を忘れずに復興支援に携わっていきたく思ひます。

吉田けい子

震災からまだ2年目。ゆいっこは息の長い顔の見える支援を目指して活動しています。その中、私は行けませんが、夏に宮古市高浜の地元のお祭りに、ゆいっこが参加できた事が、嬉しいことでした。お祭りの衣装を着て、地元の方々と一緒に神輿を担げたことは、震災後からこれまで、高浜に足を運んで築いてきた信頼があったからだと思います。これからも震災復興支援団体として、そして、岩手県の中核都市盛岡の団体として、まずは「沿岸に足を運ぶ」これを基本に頑張っていきたいと思ひます。

吉田光晴

昨年の活動の中心となったいくつかの取り組みの中で、私が最も印象的だったのは9月に行ったもりキャンです。岩手県、盛岡広域8市町村主催企画の事業委託を受け、福島、岩手県沿岸、盛岡近郊の子供達約120名と過ごした2泊3泊。3コースに別れ、岩手の自然を新しい友達と一緒に満喫しました。避難生活を余儀無くされている子供も複数いる中で、初めは話す内容等を危惧していましたが、始まってみればみな同じ。帰途に着く辺りにはコース全員が一つの大きな家族の様でした。ボランティアさんも総勢50名近くにのぼり、九州や東京から参加して下さった方もいらっしゃいました。キャンプ後に一人一人にアルバムを作り送りました。今年も何かしらの形で、継続させたい企画の一つです。関係者の皆さん、本当にありがとうございました。

細田真弓

2012は「祈りの灯火」にはじまり、「もりキャン」…と、盛り沢山すぎてあつという間の1年でした。ゼロからのスタートに戸惑っている時間もなく、ひたすら気持ちだけで動いたように思ひます。仕事、家庭と両立しながらボランティアを続ける難しさを感じ、同時に課題でもあると思ひました。様々な反省点はあるにしても、キャンプは忘れられない出来事になりました。子供たちにとってもそうであることを祈ります。たった数日間の記憶でもそれがなにかしらの形で将来につながっていたら、素敵だと思ひます。沢山の笑顔、元気な声、果てしなく広がる可能性に、沢山パワーをもらいました。日々の仕事に直結することばかりで、学びの場にもなりました。目に見えないつながりを今後も大事にしたい、そう思ひます。今年もみんなに支えられながら頑張れました。ありがとうございます！！

金城稔子

2012年の活動といえば、やはり「祈りの灯火」と「もりキャン」の二つに尽きます。イベントや旅行の企画・運営を、経験のない私たちが行ったわけですが、どちらも大きなトラブルなく終えることができたのは、ゆいっこのボランティアさんや他団体の皆さんの協力はもちろん、スタッフの結束力の賜物と思ひます。活動二年目となった今年も初めての経験が多かったように、来年以降も被災者のニーズは刻々と変わって行くことでしょう。直接的な復興支援でなくとも、被災者の方たちに沢山の笑顔が溢れるような活動を続けることが、私たちの役割かな、と感じています。また、それによって私たちが笑顔や元気をもらい、息の長い活動をしていけたらと思ひます。

長谷川愛

昨年は、自分の仕事だったり予定が、重なったりで中々活動に参加できなくて、世間の意識の風化を嘆きながらも自分にも十分言える事だなどと考えさせられる一年でした。より多くの方のほんの少しの気持ちや行動の

く先に支援という形があればと願います。3.11の祈りの灯火が今年の出来事だという事が信じられないくらい昔の様に思います。意識の風化が言われる中で、あんなに沢山の善意がある事に感動したのを覚えています。まだまだ世の中捨てたもんじゃねえな!!目的は、同じでも通る道が違くと対立が生まれてしまい、目的にたどり着けないのではなく、いいものを褒め称え誤解なく理解し合える、それが理想の形ではないでしょうか?皆様お疲れ様でした。また、今年も楽しく自分の為にも人の為にも、笑顔拡散で、いきたいと思います。

長谷川裕一

昨年は祈りの灯火、もりキャンと大きなイベントもあって、色んな方達と知り合って助けあって成し遂げる事が出来て、とても良かったです。そして事務局のお仕事も手伝うようになって、裏方をあゆみさんが全部やってくれてたから、私達は安心してボランティア活動に専念出来てたんだなあと思いました。来年はもう少しお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。

大金恵美子

一年を振り返って感じたことは、一言でいえば私たちにできることは本当に限られているということです。テレビでは被災された方々の報道も減ってきています。復興とは、元に戻すこととよく言われます。確かに街が元通りになることなどが目に見えてわかりやすいと思いますが、現実には元通りにできないものが多いです。復興とは最終的には、リハビリの概念もそうですが個人の価値観の変化だと思います。震災は自分自身に何らかの意味がある出来事だった、亡くなったかたのためにも自分自身に何らかの役割があり成し遂げよう、生きていることや周りの人に感謝し大切に生きていこう、など目には見えないことや被災された方と接しなければ決して分からないことだと思います。そこにたどり着くまでには私たちに理解できない相当な痛みや苦しみが伴うと思います。私たちにできることは限られていますが、被災された方々の価値観の変化のためのお手伝いを少しでもさせていただき、これからも寄り添っていけたらと思います。

成田公斗

2012年の一年間は気付けばあつという間でした。私が活動に参加したのは数える程度でしたが、一番内容が濃くてやりがいがあったのはやはりもりキャンでした。あれだけの人数の子どもたちと一緒に過ごすことや、事前の準備や計画は大変なことでしたが、みんなのおかげで成功させることができました。特に、福島の子どもたちにほんの少しの間だけでも岩手の自然の中で思い切り遊んでもらったり、岩手と福島の子どもたちが交流し、貴重な体験をしてもらえたのではないかと思います。こういった企画を考えサポートしてくれた方々、そ

してゆいっこメンバーやボランティアスタッフの皆さんに感謝しています。そして最初のゆいっこの立ち上げに関わった方々やこれまでの関わった人たちすべてに感謝しています。2013年以降も一人一人の力が大きな力になり、被災地のための手助けができることを願っています。ますますゆいっこの活動の輪が広がっていくように私もできる限り力になりたいと思っていますので、今年も仲良くしてください!

谷藤めぐみ

ゆいっこができて二年が経とうとしています。はじめは掃除などの直接的な活動が多かったのですが、次第に交流をメインにした活動が増えてきました。「事務局」という、現場に行かずとも活動しているかのような立場に置いていただいている私ですが(笑)、ずっと感じていることは、「顔を合わせるって大事!!」ということ。出来ることは小さくなくても、実際に人と会って温度や空気を感じることは、その先の「出来ること」を考える上でとても大事だと思うのです。他の団体さんとの繋がりも同じです。メールや電話だけでなく、「会う」って大事だになって、いつもメールや電話だけの私は思うのです。これからも、ゆいっこらしい関わり方で、宮古の方々はじめ、色々な方々となつなげていけたらと思います。

八重樫あゆみ

早いものでゆいっこ盛岡の皆さんから協力頂いて始めたあねさんショップも一年半になります。その間に支援の着物や帯を全国の皆さまから沢山送って頂きました。お陰様で商品を作成し販売が出来ました。その大半がゆいっこ盛岡のブログを見た方々です。また、様々なイベントでの販売や着物のほどこかたなど、ゆいっこ盛岡の皆さんには様々な応援をして頂き心から感謝しています。狭かったお店も広い一軒家に引越し、職業用マシンも揃える事が出来ました。これまではせっかく送って頂いた着物や帯の活用が出来ずにいましたが、これからは商品開発のための支援も受けることが出来るので、より多くの皆さんに商品をお届け出来るようになります。今後はNPO法人の登録をして、もっと幅広い支援を行うことが出来るように仲間と頑張っていきます。今後も変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

あねさんショップ 店長 岩間和子

7月に初めて、ゆいっこのボランティアに参加しました。息子や娘のような若いメンバーの皆さんとの活動に、新鮮な気持ちになりました。宮古での活動に2回、しえあハート村の草取りと「11日の灯り」の活動に参加しました。参加回数は多くはありませんでしたが、特に印象深かったのは、「お祭りのお手伝い」です。イメージしていた活動とは違っていました。住民の方々と一体となって活動する「ゆいっこ」に、お互いの信頼関係がで

きており、「これまでの継続した支援」というものを強く感じました。とても、貴重な体験をさせていただきました。復興までは、かなり時間がかかるとは思います。自分にできそうな活動のときに参加していきたいとします。総会の出席者は少なかったのですが、色々なお話を聞くことができ、「ゆいっこ」について理解を深めることができました。また、きめ細かな計画にも感心しました。「農業・漁業体験」は、私も知らないことばかりですので大賛成！

及川道子



▲総会の様子



▲総会后に集合写真を撮影。これからも復興支援頑張っていきます！

支援金をありがとうございました！

【支援金総合計】（H24.12.31 現在）

¥ 1,772,120

※日本財団、赤い羽根共同募金、NPO法人青年協議会からの支援金を除いた金額となっております。

【支援金をいただいた方】（H24年12月）

田口夏樹 様（12/18）、近藤幸司 様（12/26）、
千葉陽子 様（12/28）

活動記録（H24年12月）

日（曜日）	活動内容
23（日）	●クリスマス会（山田町）
28（金）	●総括集会&忘年会（盛岡市）

おゆずりください!!

着物ハギレ

岩手県宮古市で被災された「あねさん」達が運営する手作り小物ショップ「あねさんショップ」では、商品製作の材料等のご支援をお願いしています。ご家庭で不要になった物がありましたら、ご協力をお願いします。募集内容は以下の物です。

- 着物ハギレ生地（絹。仕立ててあるものはそのまま）
- 着物帯（絹）●ミシン●小さいアイロン●布団皮の見本
- アクリル毛糸（新品・並太・明るい色）

お問い合わせ・送付先は「あねさんショップ」まで
住所／〒027-0025 岩手県宮古市実田1丁目7-29
電話／050-5539-9524

支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆ゆうちょ銀行

記号／18350 番号／6602251
名義／ゆいっこ盛岡支部（ユイッコモリオカシブ）
※他金融機関からの振込の場合
店名／八三八（ハチサンハチ） 店番／838
預金種目／普通預金 口座番号／0660225
名義／ゆいっこ盛岡支部（ユイッコモリオカシブ）

◆郵便振替

番号／02200-1-110096 加入者／ゆいっこ盛岡支部

◆岩手銀行

店番／107 口座番号／2061680
預金種目／普通預金
名義／いわてゆいっこ盛岡 代表理事 藤原 慧矢
（イワテユイッコモリオカ ダイヒョウリジ フジワラ ケイヤ）

「ゆいっこ盛岡新聞」は、
いわてゆいっこ盛岡ホームページより
PDFでご覧いただけます。
郵送をご希望の方は電話やメールにて
事務局にお知らせください。

助成  日本財団
The Nippon Foundation



この事業は赤い羽根
「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
の助成を受け実施しています。